

未来へ語り継ごう 平和の大切さ

【問合せ】総務課総務係(本庁舎3階)
☎(5273)3505へ。



区では、戦争の悲惨さと平和の大切さを継承するため、さまざまな取り組みを行っています。今年には新宿区平和都市宣言(1面参照)35周年を記念する催しも開催します。

平和のポスター展



区立学校の小学4年生～中学3年生が平和をテーマに描いたポスター作品1,618点のうち、最優秀賞・優秀賞・優良賞57点を区役所本庁舎で展示します。その後、これらの受賞

▲昨年の平和のポスター展の様子

作品は、各児童・生徒が在住している地域の特別出張所で展示します。
【日時・会場】下表のとおり。時間は、いずれの会場も午前8時30分～午後5時(土・日曜日、祝日を除く。火曜日は午後7時まで、8月20日(金)は正午まで)
【問合せ】教育支援課教育活動支援係☎(3232)1054へ。

会場		日程
区役所本庁舎1階ロビー		8月20日(金)まで
特別出張所	<ul style="list-style-type: none"> ▶四谷(内藤町87) ▶笹岡町(笹岡町15) ▶榎町(早稲田町85) ▶戸塚(高田馬場2-18-1) ▶落合第一(下落合4-6-7) 	9月6日(月)～16日(休)
	<ul style="list-style-type: none"> ▶若松町(若松町12-6) ▶大久保(大久保2-12-7) ▶落合第二(中落合4-17-13) ▶柏木(北新宿2-3-7) ▶角筈(西新宿4-33-7) 	9月21日(火)～30日(休)

映像で伝える戦争の悲惨さと平和の尊さ

戦争体験継承DVD「未来に語り継ぐ 平和へのメッセージ」



▲草野仁さんのナビゲーションでお届けします



区では戦争体験談や区の戦争被害の概要等を収録したDVD「未来に語り継ぐ 平和へのメッセージ」を作成し、区政情報センター(本庁舎1階)、区立図書館(所蔵は中央・四谷・下落合のみ)で貸し出しています。映像は、新宿区ホームページでも公開しています。

平和都市宣言35周年記念事業

国連が定めた国際平和年に当たる昭和61年、全ての国の核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現を願い、3月15日の区成立記念日に行った「新宿区平和都市宣言」(1面参照)は、昨年度で35周年を迎えました。

戦争の悲惨さと平和の大切さを次の世代に伝えていくため、区では平和周年事業を実施します。詳しくは、広報新宿、新宿区ホームページ等でご案内します。

【日時】11月8日(月)午後5時30分～7時30分

【会場】新宿文化センター(新宿6-14-1)

【内容】著名人による平和がテーマの歌やトーク、戦争体験談紹介、区民等による平和へのメッセージほか

令和2年度 新宿区環境マネジメント活動結果

区は、事業者として率先して環境改善に取り組むため、「新宿区環境マネジメント」を運用し、電気・ガス・水などの使用量の削減等に努めています。今回は、令和2年度の区の取り組み結果をお知らせします。

【問合せ】環境対策課環境計画係(本庁舎7階) ☎(5273)3763へ。

●区のエネルギー使用量等の実績

エネルギー使用量等を「令和元年度の実績から1.0%以上削減すること」を目標に取り組み、令和2年度は全ての項目で目標達成しました(下表参照)。今後も業務の効率化と、エネルギー使用量等の一層の削減に努めていきます。

項目	令和2年度の実績	目標値 (令和元年度の実績から1.0%削減した数値)
電気使用量★	3,373万9,475kWh	3,700万3,826kWh
ガス使用量★	326万612m ³	332万4,075m ³
水使用量★	55万8,478m ³	73万288m ³
ガソリン使用量★	5万3,149ℓ	5万8,573ℓ
用紙使用量★	8,624万6,496枚	1億1,213万2,102枚
ごみ排出量★	92万8,467kg	103万4,195kg

※全260課・施設の活動報告書は新宿区ホームページで公開しています。

原爆投下から父親が亡くなるまで

被爆体験講話(1面参照)で語っていただいた田川博康さんの体験談をご紹介します。同内容のお話を、平成30年度に区が作成した戦争体験継承DVD「未来に語り継ぐ平和へのメッセージ」(左記事参照)にも収録しています。



▲田川博康さん

●原爆が投下された日

昭和20年8月9日、私は夏休みで、朝から自宅にいた。4か月前に強制疎開で両親は爆心地近くの工場に住み、私は、姉と一緒に長崎の一番古い町の鳴滝という町に移った。11時、北九州の方からB29が入ってきた。私は、遊んでいて、音が聞こえた。家から飛び出した私は、B29を発見しました。指さした瞬間でした。小さな落下傘がフワッと落ちてきた。落下傘を発見した途端です。目の前がパーッと黄色一色、橙色一色に染まってしまった。しばらくして爆風です。振り返ると、家の障子、建具が全て吹っ飛んで、私は頭の左側に相当の出血をしていた。

●父を探して

きっと、親父が私たちをすぐに助けに来てくれるだろう、と思ったんです。ところが、8月9日の夜になっても来ない。10日になっても来ない。「おかしいな、親父は何をしているんだろう。」と思いました。11日のお昼頃、外で待っていたら、半ズボンの上半身裸のおじさんが、とぼとぼ歩いてこられる。そのおじさんは、上半身は火傷をして、肌がバラバラに垂れ下がっていました。そのおじさんに「おじさん、浦上(両親の工場がある辺り)は?」と聞きました。そしたら、長崎の方言で「なか」と。「大変なことが起こっている。」と思いました。私は、家に帰って姉に「親父の工場へ行って来る。」と言いました。もちろん交通機関なんて一切ありません。ずっと歩いて辿りました。私は歩きながら、家もない、何もないんです。小さな川に死体がたくさん浮かんでいて、まさに異常でした。そういう状況で感覚が相当変わってきた。

●父を大八車に乗せて救護所へ

やっと親父の工場の所に辿り着いた。おそらく、4～5kmは歩いた。喉は渇くし、お腹は空きます。当時食糧難の時代でしたからね、工場の片隅のところに多分お袋が買っていた生のジャガイモがたくさんかごの中に入っていた。私は思わず1つにぎって生でもいいからかぶりつきました。そしたら、綺麗に煮えているんだ。2、3個むしゃぶり食べて、井戸から水を汲んで喉を潤した。後から考えてみると、原爆の熱で親父の工場から爆心地の距離で綺麗にジャガイモが煮えたんだとわかりました。ある防空壕の前を通り過ぎようとした時に、ざんばら髪の女性が座っていました。そのおばさんが、私の名前を呼んだ。小さな声でした。「ひろちゃん」と。見たらお袋です。びっくりして、「親父はどこ?」って聞いたら、「奥に寝てるよ。」と。爆弾が落ちた時に、工場の中にある劇薬の下を通過して、右足の膝から下が溶けてどろどろになっているような状況でした。親父が呻きながら寝ていました。近所の救護所まで走っていきました。看護師さんに「薬ありますか?」って聞いたら、「赤チンキだけよ。」と。「これではどうにもならない。」と思い、防空壕に帰りました。私は防空壕に2泊しました。親父をリヤカーに乗せて、お袋は、ほとんど無傷だったので歩かせて、救護列車に乗せてその後、5kmほどある叔母のところへ連れて行きました。近所の人から滑石というところに、長崎医大の先生が救護所を作っているらしいと聞き、翌日私は大八車に親父を乗せて、滑石まで歩いていきました。救護所の所長の外科の先生が親父を見ていきなり「手術、切断!」と言われた。手術が始まったのですが、大工の鋸で切断したのです。一言もそれまで喋らなかった親父が「痛い。」と。そして、手術が終わり、一晩泊まって、私は親父を連れて、叔母の家へ連れて帰りました。それが8月16日です。2日後、親父は息を引き取りました。

(7月16日開催の中学生対象被爆体験講話から一部要約)

環境影響評価書案の縦覧・意見書の提出

(仮称)神宮外苑地区市街地再開発事業

●環境影響評価書案の縦覧・閲覧

【縦覧・閲覧期間】8月16日(月)～9月14日(火)(土・日曜日を除く)

【縦覧時間】午前9時30分～午後4時30分

【縦覧場所】区環境対策課(本庁舎7階)、東京都環境局環境政策課(西新宿2-8-1、都庁第二本庁舎19階南側)、東京都多摩環境事務所管理課(立川市錦町4-6-3、都立川合同庁舎3階)

【閲覧場所】四谷特別出張所・四谷地域センター(内藤町87)、中央図書館(大久保3-1-1)

●意見書の提出

【提出方法】任意の用紙に8月16日(月)～9月29日(水)(消印有効)に環境保全の見地からの意見、事業名、氏名、住所(法人その他の団体は名称・代表者の氏名・東京都

内にある事務所または事業所の所在地)を記入し、東京都環境局環境政策課(〒163-8001 西新宿2-8-1、都庁第二本庁舎19階南側) ☎(5388)3406へ郵送してください。ホームページ(右図二次元コード)からも申し込みます。



●事業者説明会の開催

【日時・定員】▶8月20日(金)午後6時～7時30分、▶8月21日(土)午後2時～3時30分(受け付けは各回30分前から)

【会場・申込み】当日直接、東京ガーデンテラス紀尾井町紀尾井カンファレンス(千代田区紀尾井町1-4)へ。

【問合せ】神宮外苑地区まちづくり準備室 ☎(6695)0539(土・日曜日、祝日を除く午前9時～午後6時)へ。